

「人口と開発」における人権

開催日時

2015年 **12月4日(金)**
10時40分 ~ 12時10分

場所

学術情報総合センター 10階 大会議室



【講師プロフィール】

1965年生まれ。東京大学保健学修士、東京大学工学士(建築)、パリ大学修士(D.E.S.S.)、政策研究大学院大学博士(政策研究)。セネガル保健省大臣官房技術顧問(JICA 専門家)、東京大学 GCOE「都市空間の持続再生学の展開」特任講師などを経て2012年より現職。保健と人口、都市化と人口移動、人口と開発に関する研究に従事。主要著書に、「人口分野の国際協力の変遷とポスト2015年開発目標」(2013年)、「宗教と健康・死亡力」 in 『世界の宗教と人口』(2013年分担執筆)、「国際人口移動の現代的展望—日本モデルは可能か—」(2014年)など。国連人口開発委員会に政府代表団として2012年より参加している。

はやし れいこ

林 玲子氏 (国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部長)

講演要旨

1994年、カイロで行われた国際人口開発会議は、それまでの人口爆発に対するマクロな人口抑制施策から、ミクロな視点から女性の選択とエンパワメントを重要視しリプロダクティブヘルス・ライツを確保する、という流れを生み出した。20年後の2014年にはその行動計画は履行期限を迎え、今年2015年には、カイロ会議、北京女性会議、そしてリオ環境開発会議の流れを一つにまとめ、持続可能な開発目標(SDGs)が採択された。その流れの中で、こと人口開発分野における人権は少なからず荒波に揉まれている。価値観の異なる国々の間で何が論点となっているのかを俯瞰して、世界は今後何を目指すのか、みなさんと共に考えてみたい。

定員

大阪市立大学学生・教職員・市民
定員：250名

申込み方法

申込不要/当日先着順

問合せ先

大阪市立大学人権問題委員会事務局
(学務企画課庶務担当(平日9時~17時) TEL: 06-6605-3503)

主催：大阪市立大学人権問題委員会